第１回部活動改革推進委員会（概要）

開催日：令和７年５月27日（火）19時～21時

場　所：更別村農村環境改善センター視聴覚研修室

１　委嘱状交付

２　教育長挨拶

３　委員長・副委員長の選出

　　～委員長　　霜野敬夫　氏（更別村社会教育委員の代表者）

　　　副委員長　笠松真一郎氏（更別小学校長）

４　部活動地域展開（部活動改革）について

～説明：内田部活動改革推進委員

５　意見交流

（環境）

・選択肢やニーズが増えてきているが、子供の数が減っているので対応が難しい。

　　　・子供たちが多くの選択ができるよう多様化・広域化を進めてほしい。

・少年団で活動している子供たちが、中学校でも継続して行える体制を検討してほ

　しい。

　　　・部活動の目的を明確にすべき。

　　　・他町村と協力して部活動を実施する拠点校方式になった場合、更別村以外の町村

　　　　への移動手段が必要になるのではないか。

　　　・他の地域では広域化を進めてきたが、大人の思いだけではうまくいかない実態も

　　　　ある。

　　　・部活動地域展開として子供たちのために大人は何ができるか考える必要がある。

（指導者）

・中学校の教員で経験のない方が顧問となり大会引率等対応している場合があるの

　は大変だと思う。

　　　・指導者を確保するためには謝礼・報酬がないと人が集まらないのではないか。

・部活動指導員の不足する場合、地域での指導者を確保するため、仕事をしている

　人の兼職兼業や勤務時間をずらすなどの企業等の協力が必要となる。

　　　・外部指導者が部活動に入るとなると勤務時間の関係で指導時間が遅くなる可能性

　　　　が高くなる。そうなると気軽に入部できる部活動の良さを失ってしまう。

　　　・部活動改革のひとつとして教職員の負担軽減だが、一昔前から比べると休みも確

　　　　保されているため、教員の負担は減りつつある。

　　　・地域の人だけでなく、民間企業との連携も必要。